

会 議 録

会議の名称	平成26年度 和泉市環境審議会
開催日時	平成26年11月20日 14時00分～15時35分
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	増田会長 巖副会長 西村副会長 竹歳委員 竹中委員 大浦委員 岡委員 大谷委員 松田良輝委員 大倉委員 松田岳彦委員 橋本委員 梁取委員（以上13名 順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	(1) 会長、副会長の選出について (2) 和泉市環境基本計画について (3) 和泉市信太山丘陵市有地保全・活用検討ワークショップについて
会議の要旨	(1) 会長に学識経験者である増田委員、副会長に町会連合会顧問の西村委員、学識経験者である巖委員が選任された。 (2) 平成23年3月に策定した第2次和泉市環境基本計画の概要説明及び平成25年度における数値目標設定施策の取組み状況の進捗報告 (3) 和泉市信太山丘陵市有地保全・活用検討ワークショップについての進捗報告 ・(2)～(3)については、議事ごとに事務局の説明、質疑に対する事務局の回答、委員による審議が行われた。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
主な意見等	<p>(1) 会長、副会長の選出について</p> <p>○会長、副会長は、委員の互選により定めるものとなっているが、立候補者等がおられなかったため、仮議長（副市長）一任の発言があった。 仮議長から、会長に学識経験者である増田委員、副会長に町会連合会顧問の西村委員、学識経験者である巖委員が推薦され、委員の同意を得られたため就任が決定した。</p> <p>(2) 和泉市環境基本計画について</p> <p>【事務局説明概要】</p> <p>○和泉市環境基本計画は、環境基本条例の基本理念に基づき、環境の保全に関する総合的な取り組みを進めるため、平成13年9月に1次計画が策定された。</p> <p>○この計画は、和泉市環境基本条例の基本理念に基づき、すべての人が一体となって、自然と共生し、環境への負荷の少ない循環を基調とする社会の実現をめざして、環境の保全に関する取り組みを進めることを目的としている。</p> <p>○平成23年3月に策定した「第2次和泉市環境基本計画」について概要版を使用して説明。</p> <p>○平成25年度における計画の進捗状況について、数値目標を掲げている施策をピックアップしながら報告。</p>

	<p>【委員】</p> <p>○温室効果ガスの１人当たりの排出量について、多く感じるが１人ではなく１世帯あたりの間違いではないのか。</p> <p>【事務局】</p> <p>○掲載されている数値については、電気・ガス・水道等の使用量について、市内全体のデータを抽出して、人口で割っているものであり、誤りではない。</p> <p>【会長】</p> <p>○家庭での排出だけではなく、都市活動などによる温室効果ガスの排出についても含まれている数値になっている。</p> <p>【委員】</p> <p>○河川の上流地域について、下水処理があまり進んでいないと思うが、BODについての基準は守れているのか。</p> <p>【事務局】</p> <p>○環境保全課にて、５地点でBODの測定を実施しており、いずれの地点においても、環境基準を達成している状況である。</p> <p>【委員】</p> <p>○ごみの減量の目標値について、家庭系のごみと事業系のごみが分かれていないが別々にすべきではないのか。</p> <p>○公共施設のごみの量について、前年度より増加しているが、どのような指導を行っているのか。</p> <p>○生ごみ堆肥化容器について、目標値が２，３００基に対して、平成２４年度の実績値３７基、平成２５年度の実績値２１基ではわかりにくい。また、普及という点では一部の補助ではなく無料で設置してもいいのではないか。</p> <p>○公共下水道の接続について、融資が得られず断念するケースがあるとのことだが、対策を願いたいと思う。</p> <p>○保安林面積について増加がないとのことだが、森林ボランティアの創出ができていないのになぜなのか。</p> <p>○街路樹について、延伸がないとのことだがどのようなことが理由にあるのか。</p> <p>○公共施設（市役所）において、漏水があったとのことだが、その経過について伺いたい。</p> <p>○樹木の天然記念物指定について、若桧町にあるしだれ桜については、指定等されているのか</p> <p>【事務局】</p> <p>○ごみの減量の目標値について、家庭系ごみと事業系ごみがわかれていないのは、国の一般廃棄物基本計画の基準年度が平成１２年度になっており、その時点ではごみの収集において、家庭系と事業系を混載していたため、各回収量の数値がでていないので、総量で掲載をしている。平成２０年度以降は混載をではなくごみを収集しているので、それぞれの回収量がでて</p> <p>○公共施設（市役所）のごみ量が前年より増加した要因としては、市役所の水道庁舎が移転したため、一時的に増加したと考えられる。</p> <p>○生ごみ堆肥化容器について、補助制度の充実を検討している。また、関</p>
--	---

	<p>東で普及されてきている「キエーロ」という木箱製のごみ減量容器について、本市で使用実験の準備をしているところである。</p> <p>○公共下水道の接続に関しては、環境保全課としても、下水道の普及率を上げることが、環境負荷の軽減にもつながるので進めていきたいと考える。</p> <p>○漏水については、平成24年度の大規模な水量の増加に伴い調査を実施し、修繕については、平成25年度途中に行われたと聞いております。</p> <p>○若樫町にあるしだれ桜については、大阪府の天然記念物に指定されております。</p> <p>【会長】</p> <p>○ごみの目標値について、次年度以降は分割したものを参考値などとして、表記してわかりやすくしていただければと思う。</p> <p>○保安林面積の増加については、地権者の同意を得て地域指定が必要なため、なかなか地権者の同意を得にくいと、増加が少ないのが実態だと思う。</p> <p>○街路樹の延伸については、管理費が必要になることも考慮して計画を進めていく必要があると思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○はつが野地区にて、花みずきが見られるが、根が浅く夏に弱い。いのちの森事業に取り組んでいるが、後の管理が大切である。地元近くの公園にて水遣りをしており、物品の要望をしているが、支給されていない。</p> <p>【委員】</p> <p>○リサイリーン制度の活用について、3Rをこれからも続けていくのか。4Rに一部取り組んでいると聞いています。また、5Rについてはどのように考えていますか。</p> <p>【事務局】</p> <p>○3Rの推進について、小学校4年生を対象とした、出前授業の時には、3Rで説明を行っているが、町会やその他の団体での出前講座や啓発資料については、レジ袋削減や簡易包装などリデュース（4R）促進の啓発を進めている。また、リペアー（5R）については、今後勉強したい。</p> <p>【委員】</p> <p>○ごみの総量について、現況値の69,938tについては、平成21年度か平成12年度なのかどちらなのでしょう。</p> <p>○達成度の基準についても分かりにくいのでガイドラインなど分かりやすくする必要があると思います。</p> <p>【事務局】</p> <p>○ごみの総量については、平成12年度の現況値となっています。</p> <p>○ガイドラインを含め中間見直しにおいて検討したいと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○ため池を活用した水辺環境の整備について、訪れた人たちに快適と安全を提供すべく処置を施されたため池の数とあるが処置とはどのようなことを指すのか</p>
--	--

	<p>【会長】</p> <p>○公園的機能と農業用水機能と一体化しているようなものは本市に１３箇所もないのではないか。安全防護柵の設置など安全対策が取られているものを指すと考える。</p> <p>【委員】</p> <p>○いずみいのちの森事業において、どんぐりの苗木を植樹したとのことだが、苗木の種類についてはどのようなものになっているのか。</p> <p>【事務局】</p> <p>○アラカシやシリブカガシなど多種になっています。</p> <p>【委員】</p> <p>○種類において、保水力の多くある、在来の原生林に戻っていくような種類にしてみてもいいのではと思います。</p> <p>【委員】</p> <p>○数値の扱いについて、数値目標と実績値について表示の方法が変更されていることがあるのでわかりにくい。目標値にしたがって表記するようにしてほしいと思います。</p> <p>【事務局】</p> <p>○表示方法については、変更を行うべきである。中間見直しにおいて、修正を行いたい。</p> <p>【委員】</p> <p>○不法投棄のパトロールについて、回数が増加することが評価になるのか。また、パトロールの回数だけではなく、実際の件数や回収量もあればよりわかりやすいと思う。</p> <p>【事務局】</p> <p>○数値については、職員が行った回数になります。職員のパトロールする回数を増やしていくという意味になります。件数や回収量についても、表記することも必要だと思います。</p> <p>【会長】</p> <p>○非常に多くの議論ができたと思う。次年度の中間見直しの際には、わかりやすいように修正を行っていただきたいと思う。今回の議論をうまく反映させていただければと思う。</p> <p>（３）和泉市信太山丘陵市有地保全活用検討ワークショップについて</p> <p>【事務局説明概要】</p> <p>○和泉市信太山丘陵市有地の保全・活用について平成２５年度より「和泉市信太山丘陵市有地保全活用検討ワークショップ」を設置し、学識経験者などの参画のもと、意見等を踏まえながら検討を進めている。</p> <p>○和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想【素案】（概要版）に沿って、基本構想の素案についての説明を行った。</p> <p>【委員】</p> <p>○意見等なし</p>
--	--

	<p>(4) その他</p> <p>○第2次和泉市環境基本計画について、平成27年度が策定より5年目になることから中間見直しを行うことを説明。</p> <p>以上</p>
--	---